

※同時記者発表 高松サポート記者クラブ／徳島県政記者クラブ／阿南市政記者クラブ

平成30年10月31日
四国地方整備局
徳島

那賀川水系河川整備計画の見直しに着手

～第12回 那賀川学識者会議の開催報告～

◆平成30年10月17日(水)に「第12回 那賀川学識者会議」を開催し、那賀川水系河川整備計画(以下「河川整備計画」という)の点検等について、学識経験を有する委員の方々からご意見を伺いました。

◆今回の学識者会議による点検では、河川整備計画に基づき、適切に河川整備事業を実施していることが確認されました。

◆一方、委員からは、那賀川流域では、現行河川整備計画の治水目標となっている計画策定時点での戦後最大規模であった昭和25年9月洪水(ジェーン台風)を上回る平成26年8月洪水(台風11号)により深刻な浸水被害が発生していること、長安ロダムの改造、加茂地区、和食・土佐地区の堤防整備、河口部での地震津波対策等の主要な治水対策についても完成の目途が立っていること、さらに、近年の頻発する洪水の激化や将来の気候変動の状況を踏まえ、河川整備計画の治水目標を見直し、次の段階に進めてもよいのではないかとといったご意見も頂きました。

◆これらを踏まえ、流域の治水安全度を高めるために戦後最大洪水である平成26年8月洪水(台風11号)と同規模の洪水を安全に流下させることを治水目標とするため、河川整備計画の見直しに着手します。

◆なお、「第12回 那賀川学識者会議」の開催報告については、那賀川河川事務所ウェブサイトにある「委員会等」をご覧ください。

(《那賀川河川事務所ウェブサイトは、以下のとおりです。》)

(<http://www.skr.mlit.go.jp/nakagawa/index.html>)

◆総合的なお問い合わせ

国土交通省 四国地方整備局

河川部 河川計画課 建設専門官

電話：087-811-8317

笠井 博之(内線 3613)

◆河川整備計画の変更に関するお問い合わせ

◇国管理区間に関すること

国土交通省 四国地方整備局

那賀川河川事務所 副所長

◎調査課長

電話：0884-22-6562

安永 一志(内線 204)

青木 朋也(内線 351)

◎主な問い合わせ

◇県管理区間に関すること

徳島県 県土整備部

河川整備課 課長補佐

電話：088-621-2570

披田 毅

第12回 那賀川学識者会議の開催概要 (H30.10.17)

○那賀川水系河川整備計画及び那賀川床上浸水対策特別緊急事業(加茂地区)について、学識者の方々(10名)から意見を伺う場として「第12回 那賀川学識者会議」を開催しました。

○委員からは、那賀川床上浸水対策特別緊急事業(加茂地区)については、地域にとって必要な事業であるため継続することが妥当との意見を頂きました。また、河川整備事業については、河川整備計画に基づき適切に実施していることを確認頂きました。

さらに、「戦後最大流量規模洪水に対応するために整備計画の目標流量を見直すなど、次の段階に進んではどうか。」や「川と人との繋がりを取り戻す施策も取り入れて欲しい。」等のご意見を頂きました。

開催概要

■日時:平成30年10月17日(水) 14:00~16:00

■場所:阿南プラザホテル 2階 鶴の間

■議事内容

○規約の改定について

○事業再評価

(那賀川床上浸水対策特別緊急事業【加茂地区】)

○河川整備計画の点検について

■委員:石川委員、角道委員、河口委員、木下委員、田村委員

中村委員、武藤委員、山中委員、湯城委員、吉村委員

事務局:四国地方整備局、徳島県

【委員名簿】

氏名	専門分野	所 属
石川 隆子	高齢福祉	富士医院 事務長
長田 健吾	水工水理学・河川工学	阿南工業高等専門学校 創造技術工学科建設コース 准教授
角道 弘文	農業水利	香川大学創造工学部 建築・都市環境コース 教授
河口 洋一	河川生態学・自然再生	徳島大学大学院 社会産業理工学研究部 准教授
木下 覚	植物分類学・植物生態学	徳島県植物研究会 顧問
田村 隆雄	森林水文学	徳島大学大学院 社会産業理工学研究部 准教授
内藤 直樹	文化人類学	徳島大学大学院 社会産業理工学研究部 准教授
中村 昌宏	地域経済学	元徳島文理大学総合政策学部 学部長
武藤 裕則	洪水防御(河川工学・水工学・水理学)	徳島大学大学院 社会産業理工学研究部 教授
山中 亮一	環境水理学(水質)	徳島大学 環境防災研究センター 講師
湯城 豊勝	洪水防御(河川工学・水理学)	阿南工業高等専門学校 名誉教授
吉村 洋	地盤工学	阿南工業高等専門学校 創造技術工学科建設コース 教授



第12回 那賀川学識者会議の様子